

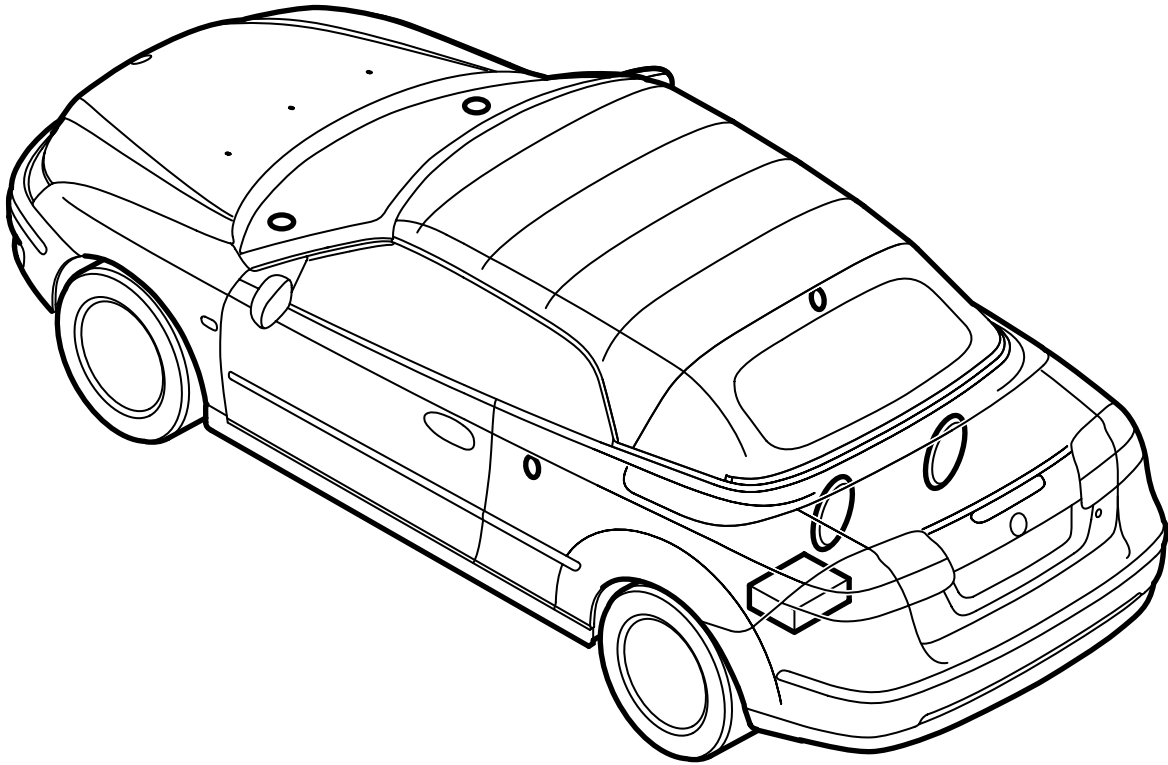


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS  
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

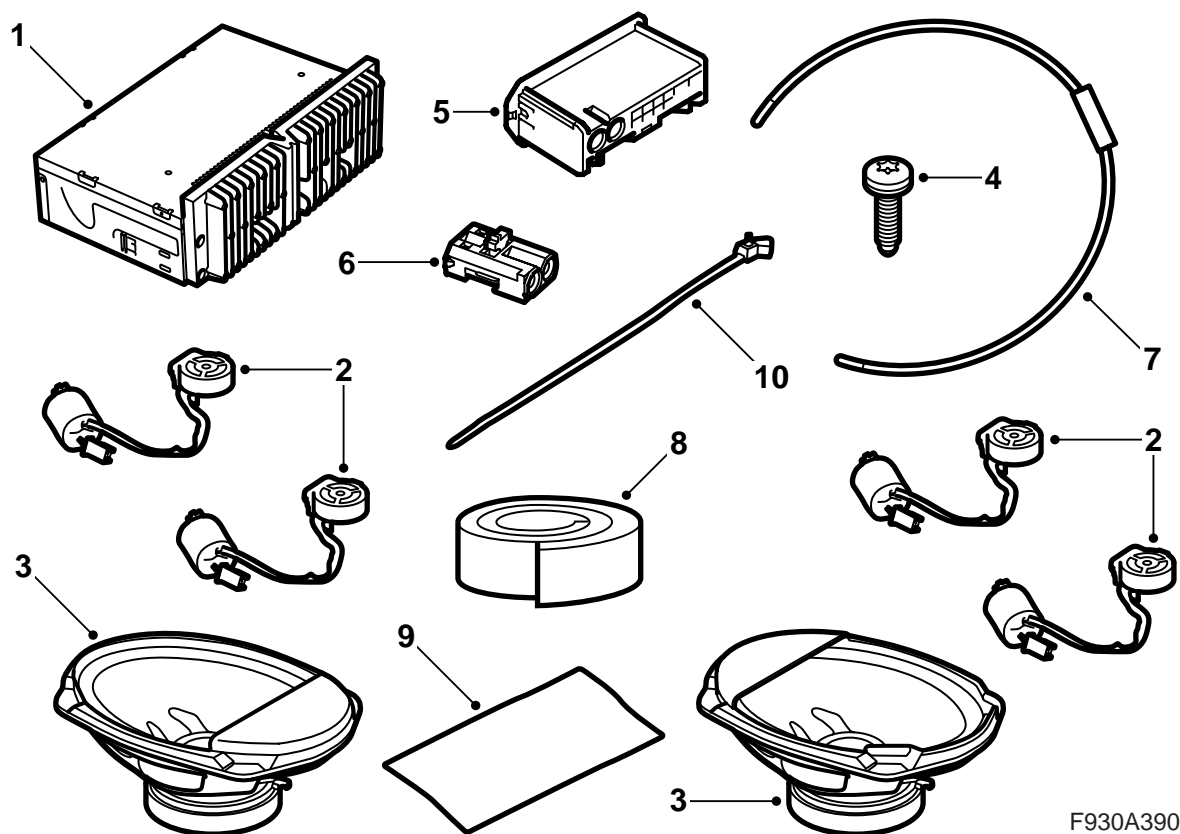
**Saab 9-3 CV M04-**

サウンドシステム プレステージ 300 へのグレードアップ

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 832 504 32 000 555	9:36-26	Mar 05	12 832 514	12 832 514 Jul 04



F930A205

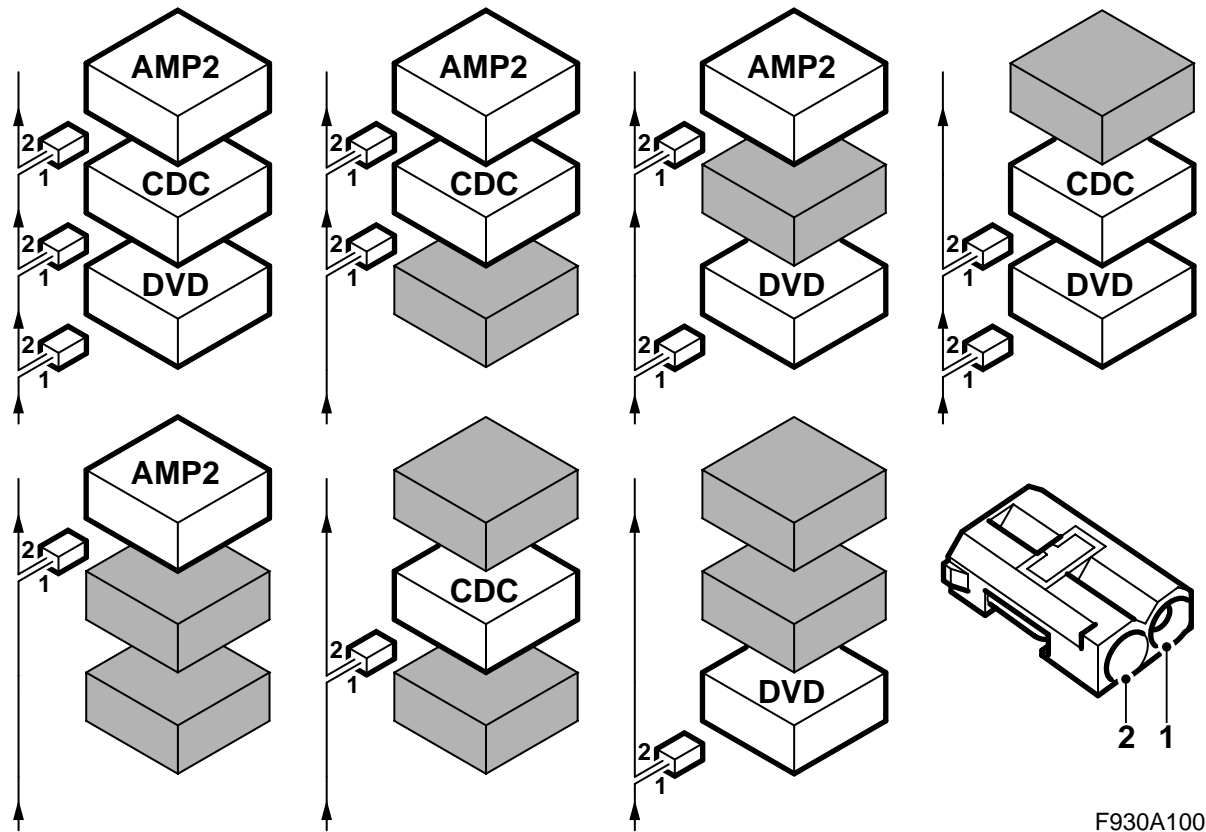


F930A390

- 1 アンプ
- 2 ツイーター (x4)
- 3 ウーファー (x2)
- 4 ネジ (x8)
- 5 キャップ、コネクタ
- 6 光ファイバーケーブル用コネクタ (2極)
- 7 ファイバーケーブル (x3)
  - ラゲッジスペースのブラケット内にあるユニットの間をつなぐケーブル (全長 455 mm)
  - アンプとトランクルームのブラケットの間をつなぐケーブル (全長 1850 mm)
  - トランクルームのブラケットとトーションボックスの間をつなぐケーブル (全長 1195 mm)
- 8 防音用ラバーストリップ
  - 2100 mm
  - 850 mm
  - 750 mm (x2)
- 9 防音用フェルト布 (x2)
- 10 ケーブルタイ (x7)

**その他に以下のパーツが必要 (別途発注のこと)**

トランクルーム内の装置用ブラケット (車種限定)



F930A100

## バス通信

車の電気システムの多くの部品がバスを使って通信を行う。バス通信には、P-バス (Powertrain Bus、パワートレインバス)、I-バス (Instrument Bus、計器バス)、O-バス (Optic bus、オプティック (光学) バス) の 3 種類がある。オーディオシステムは、ナビゲーションシステムや電話システムなどと一緒に O-バスを介して通信を行う。

O-バスは光学式でありリングバスである。2本の光ファイバーケーブルがバス上にあるそれぞれの制御モジュールに接続されており、1本は受信用、もう1本は送信用である。受信したメッセージはそれぞれの制御モジュールで光信号から電気信号に変換され、送信時には光信号に再度変換される。O-バスのデータ転送速度は毎秒 25 メガビットである。

### 重要事項

O-バスに接続されているものは全て、特別な順序 (図を参照のこと) で接続され、リングがいつも閉じていることが非常に重要である。

この取り付け説明書にある記述以外の方法で接続すると、車の多くのシステムが機能なくなる結果を招く場合がある。

AMP1 とは、左側リアサイドトリムの後方にあるアンプを指す。

AMP2 とは、リアヒューズボックスそばのアンプを指す。

CDC とは、リアヒューズボックスそばの CD チェンジャーを指す。

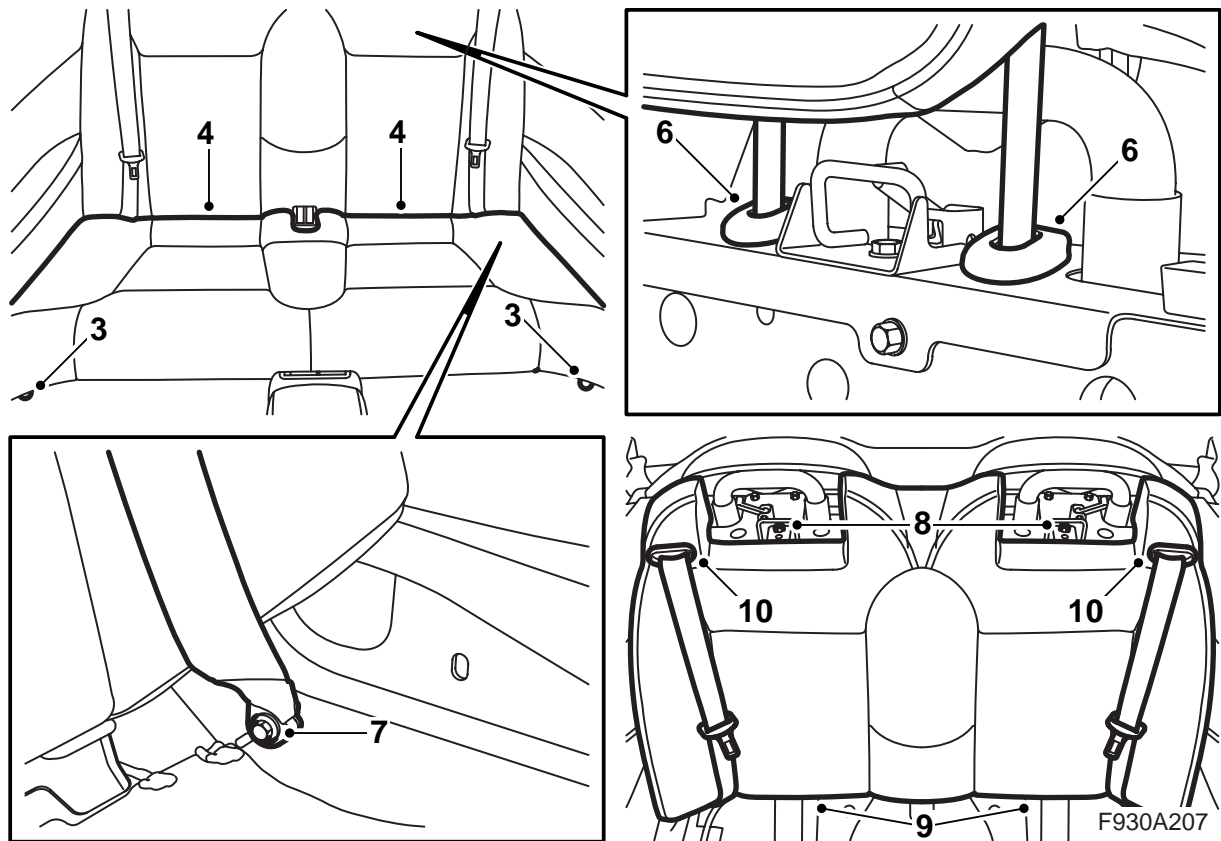
DVD とは、リアヒューズボックスそばの DVD プレーヤーを指す。

O-バスに接続する新たな装備品の取り付けに際しては、既存装備品の正しい側に接続することが重要である。

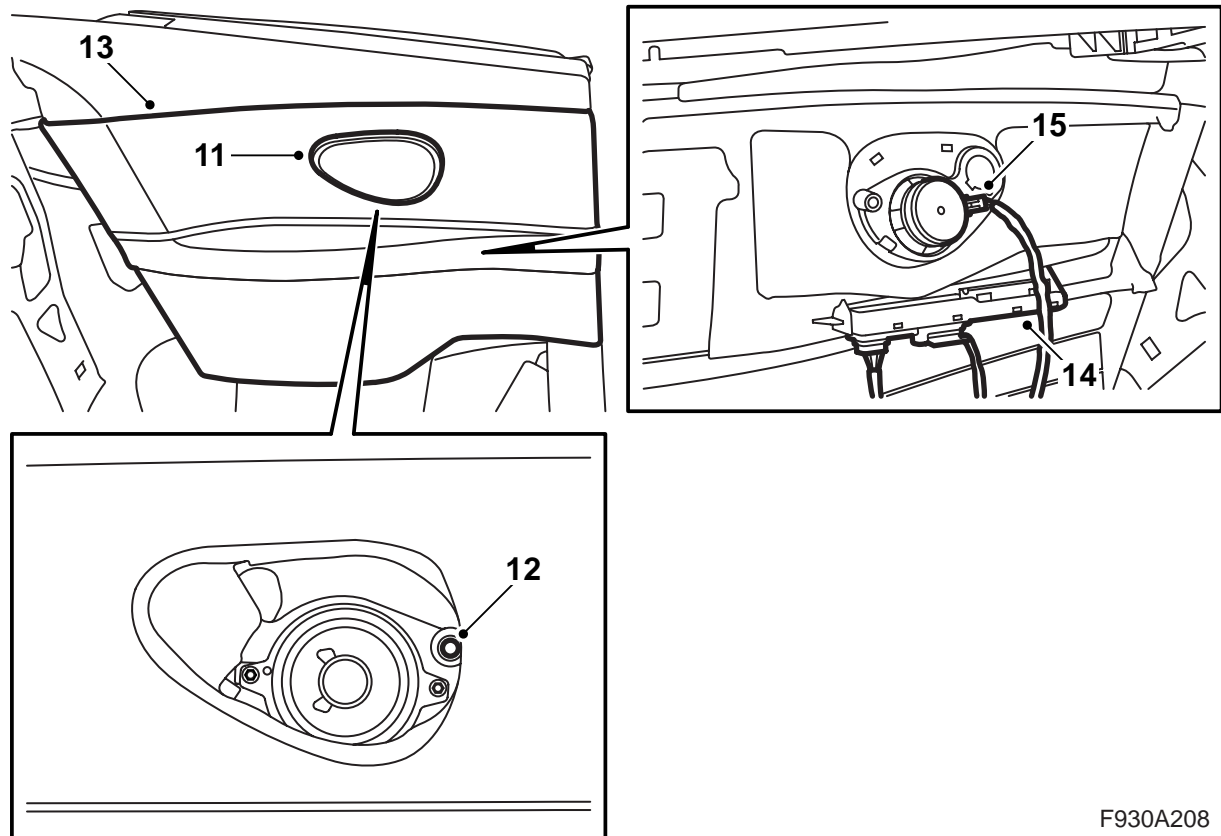
### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り間違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルはスプライスできない (継ぐことができない)。
- ファイバーケーブルを半径 25 mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルを 85 °C 以上の高温にさらしてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

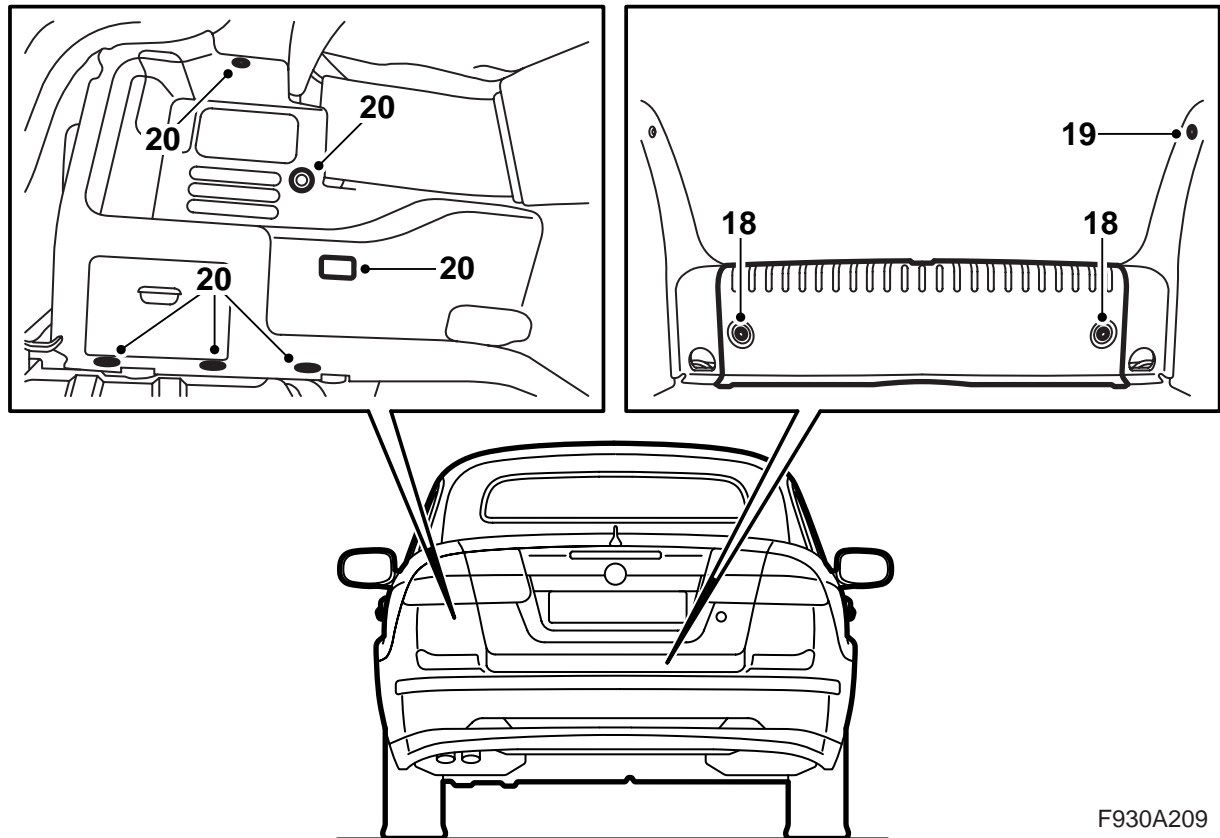


- 1 ソフトトップを完全に下げるが、ソフトトップカバーは開いた状態としておく。
- 2 リア左側のサイドウィンドーを完全に開く。
- 3 リアシートのクッションを前端で固定しているネジを取り外す。
- 4 このクッションを持ち上げ、外れるまで前方に引く。
- 5 リアシートのヘッドレストを両方共、一番高い位置になるまで引き上げる。
- 6 ヘッドレストのスリーブにあるロックを押し込む。ロックを押し込んだままの状態ヘッドレストを取り外す。
- 7 シートベルトの下側固定部のネジを取り外す。
- 8 バックレストの上側固定部の 2 個のネジを取り外す。
- 9 バックレストの下部を前方に引き、バックレストをまっすぐ上に持ち上げる。
- 10 シートベルトガイドをバックレストから押し出し、このシートベルトをガイド及びバックレストから引いて取り出す。



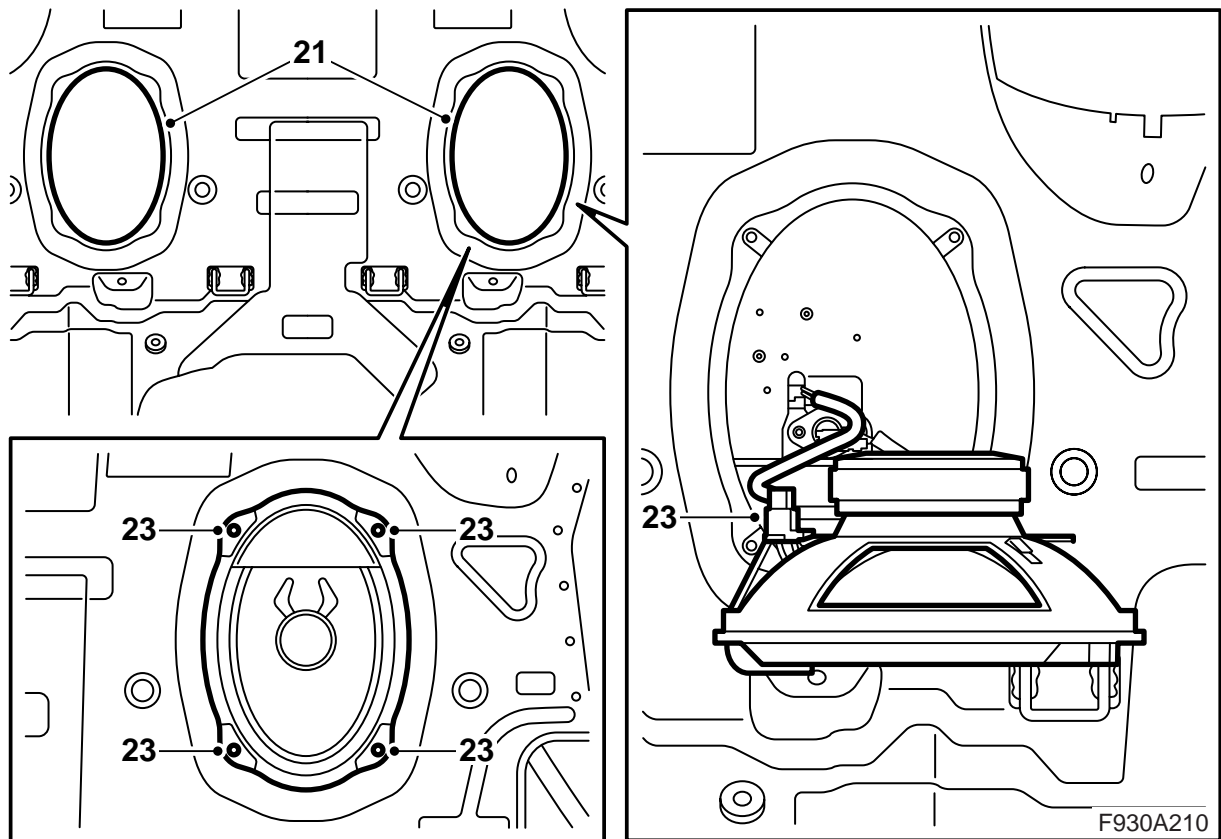
F930A208

- 11 スピーカーグリルを、左側リアサイドトリムから注意深く取り外す。取り外しツール（品番号：82 93 474）を使用すること。
- 12 左側リアのサイドトリムを固定しているネジを取り外す。
- 13 サイドトリムを上を持ち上げる。ゴム製の保護材は無くさないように保管しておく。
- 14 制御モジュールをサイドトリムから滑らせて取り外す。ただしこのとき制御モジュールのコネクター接続は外さないこと。さもないと故障コードが設定されてしまう。
- 15 スピーカーのコネクター接続を外し、サイドトリムを取り外す。



F930A209

- 16 ソフトトップを上げ、トランクリッドを開ける。
- 17 バッテリーのマイナスケーブルを取り外し、イグニッションスイッチからキーを抜き取る。
- 18 トランクルームフロアのマットを取り外す。トランクルームのスカッフプレートも取り外す。
- 19 左側のサイドスカッフプレートを取り外す。
- 20 左側サイドトリムのクリップを取り外し、トリムを曲げてどけておく。サイドトリム裏側のバンドのフックを外し、トランクルームライトからのコネクターを取り外す。サイドトリムを取り外す。



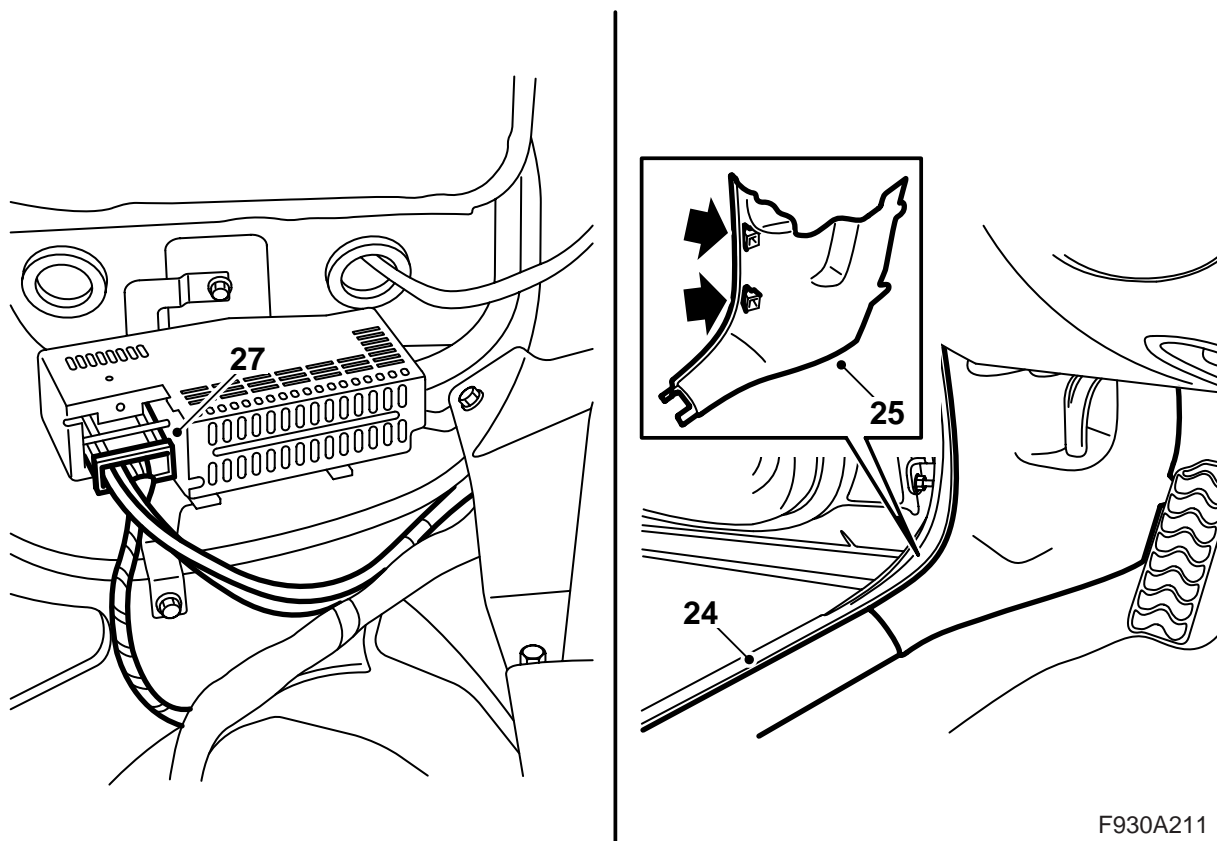
- 21 低音スピーカーのカバーを取り外す。
- 22 低音スピーカーのコネクターを見つける。
- 23 低音スピーカーを接続し、取り付ける。

### 重要事項

スピーカーはカバーを上向きにして取り付けること。

**リアヒューズボックスのそばにブラケットが無い車：**手順 24 から作業を続行する。

**リアヒューズボックスのそばにブラケットがある車：**手順 54 から作業を続行する。

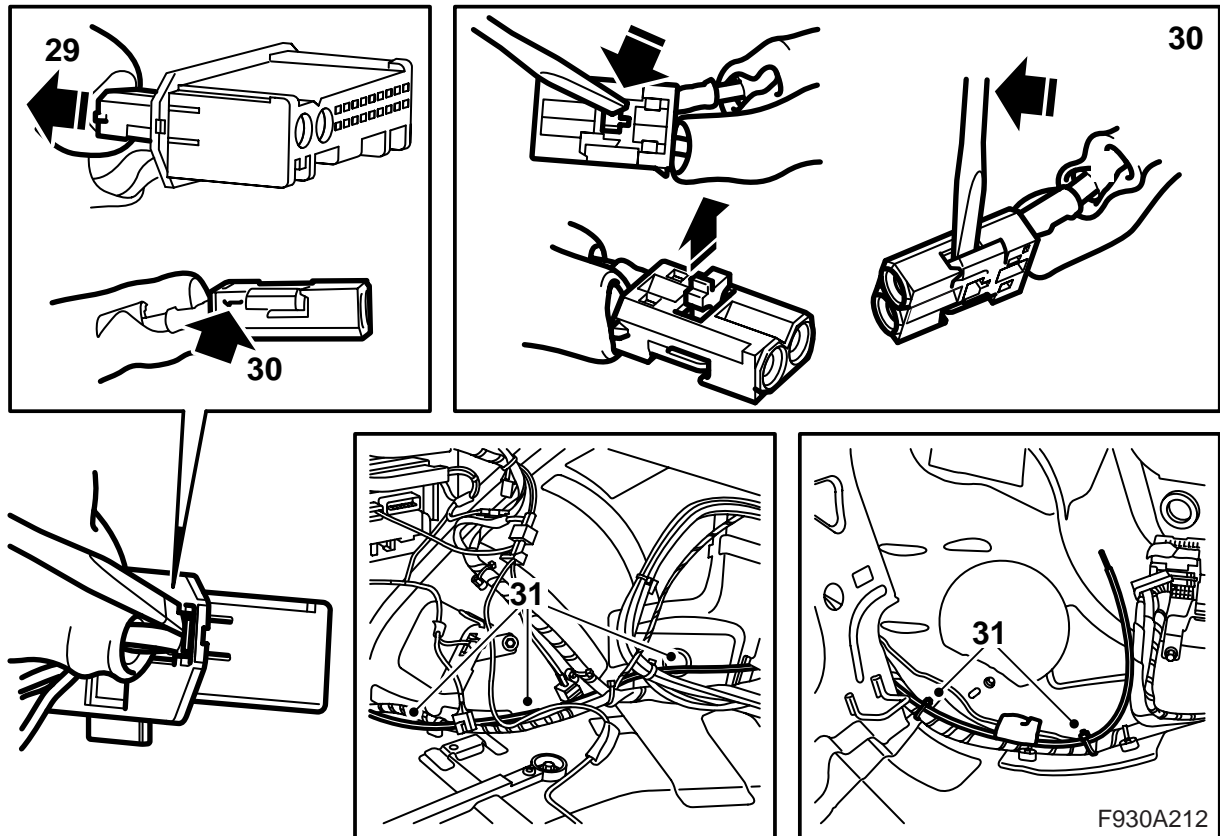


F930A211

**リアヒューズボックスのそばにブラケットの無い車**

- 24 車の左側のスカッフプレートを取り外す。
- 25 左側Aピラートリムのアンダーパーツを取り外す。
- 26 左フロントシートを前位置にスライドさせバックレストを前に倒す。
- 27 アンプからコネクターを取り外す。





#### リアヒューズボックスのそばにブラケットの無い車

28 アンプのそばにある、緑色のマークが付いたファイバーケーブルを見つける。

#### カラーマークが付いておらず、リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車の場合：

この取り付け説明書のポイント 50 と 51 に従い、アンプ付近でファイバーケーブルに光を当てながらトランクルーム内のファイバーケーブルを観察し、該当のケーブルを見つける。見つかったケーブルにテープを貼ってマークを付ける。

30 1の位置に接続されているファイバーケーブルを、コネクターのロッククリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。

31 キット内容のファイバーケーブルを、アンプからリアのヒューズボックスまで、車の既存のワイヤーハーネスに沿って位置付ける。

32 キット内容のファイバーケーブルのコネクターから保護具を取り外す。

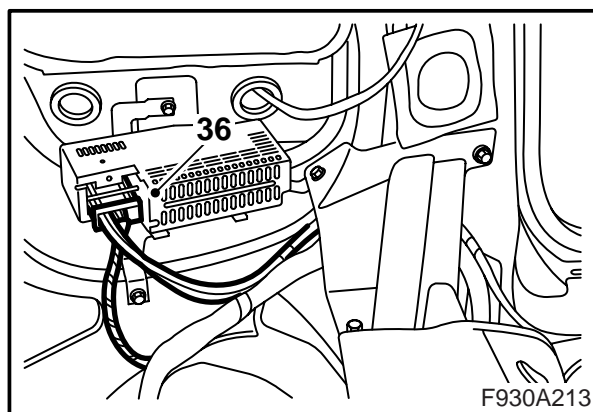
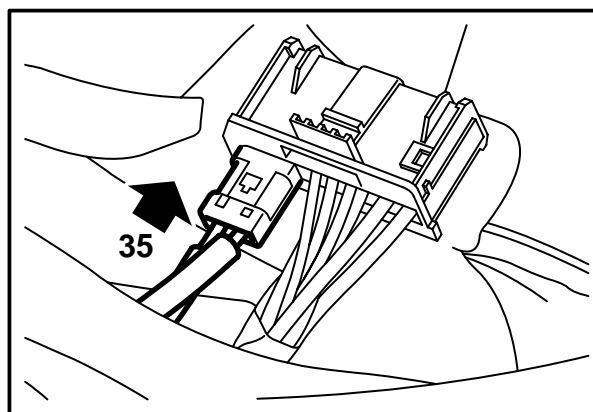
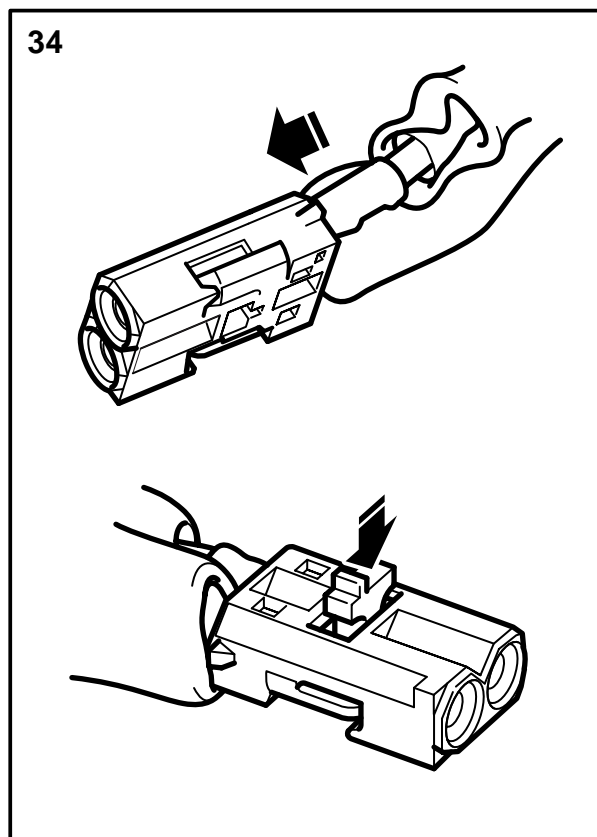
33 取り外したファイバーケーブルの接続部分に保護具を取り付け、ファイバーケーブルを（損傷しないため）注意深くどける。

### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

29 アンプのコネクターからファイバーケーブルのコネクター（小型コネクター）を取り外す。



#### リアヒューズボックスのそばにブラケットの無い車

34 ファイバーケーブルが曲がらないことを確認の上、ファイバーケーブルのコネクターをアンプの小型コネクター内1の位置に取り付ける。ロッキングクリップを取り付ける。

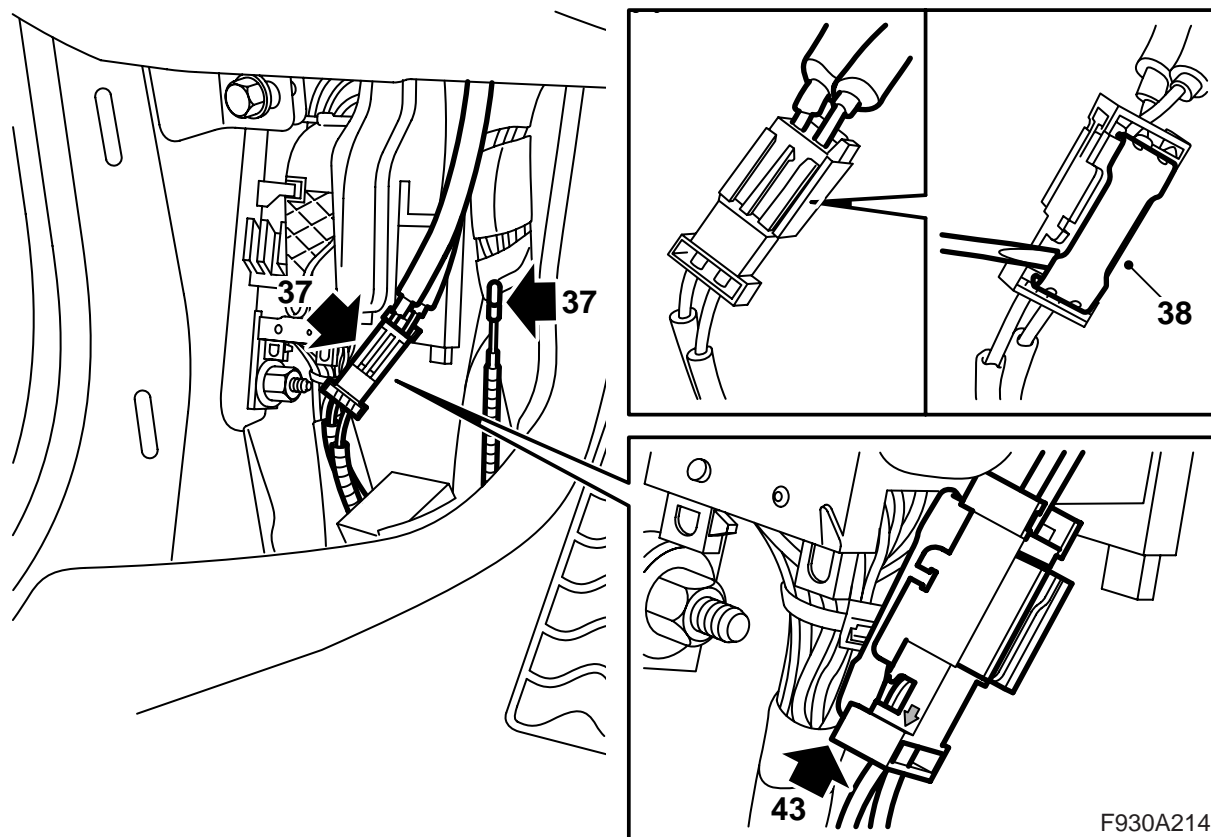
#### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

35 小型コネクターを大型コネクターに取り付ける。

36 アンプを接続する。



### リアヒューズボックスのそばにブラケットの無い車

- 37 左 A ピラーそばにあるファイバーケーブルが接続されたコネクタと接続されていないファイバーケーブルを探し出す（ケーブルダクトにテープ止めされている）。

#### 警告

赤い可視光線はレーザークラス 1 である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。

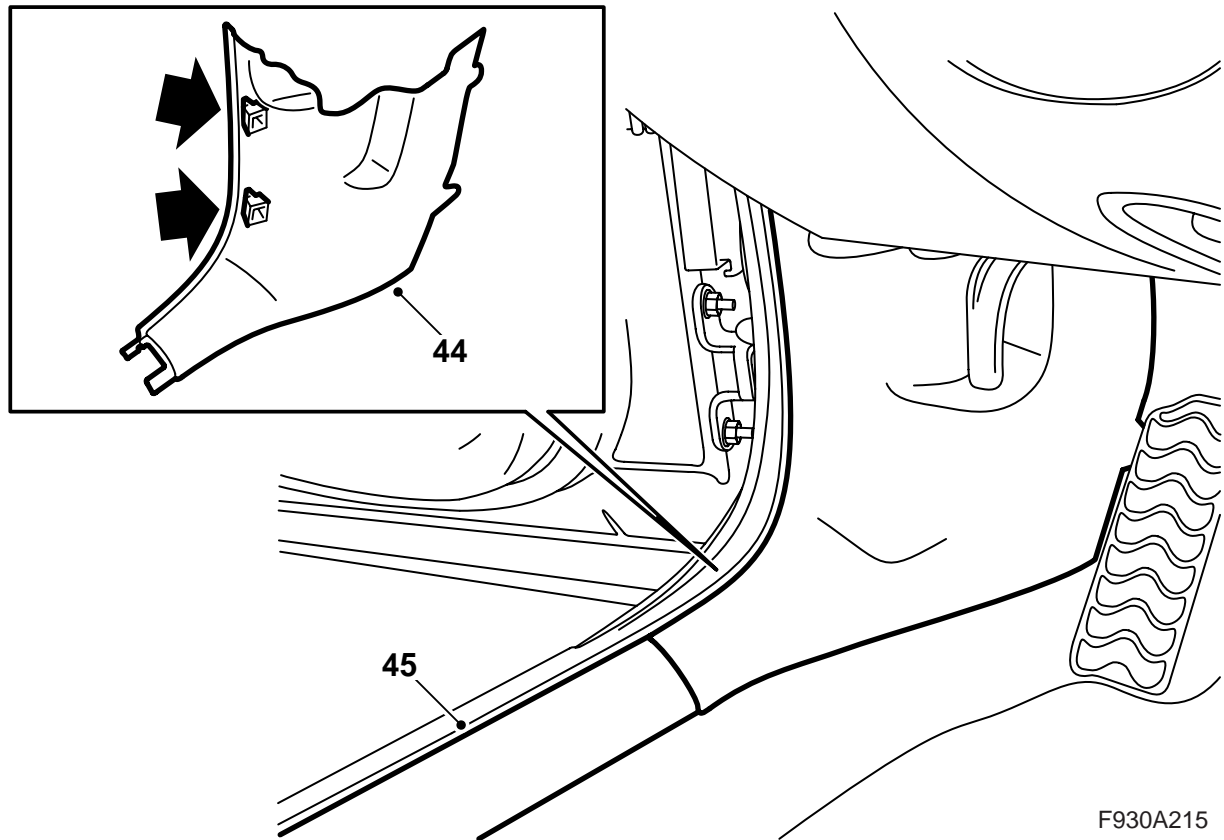
- 38 コネクタの留め金を持ち上げる。  
39 コネクタの矢印がファイバーケーブルに向かって外側を向いている位置からファイバーケーブルを取り外す。

### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクタ内の 2 本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径 25 mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

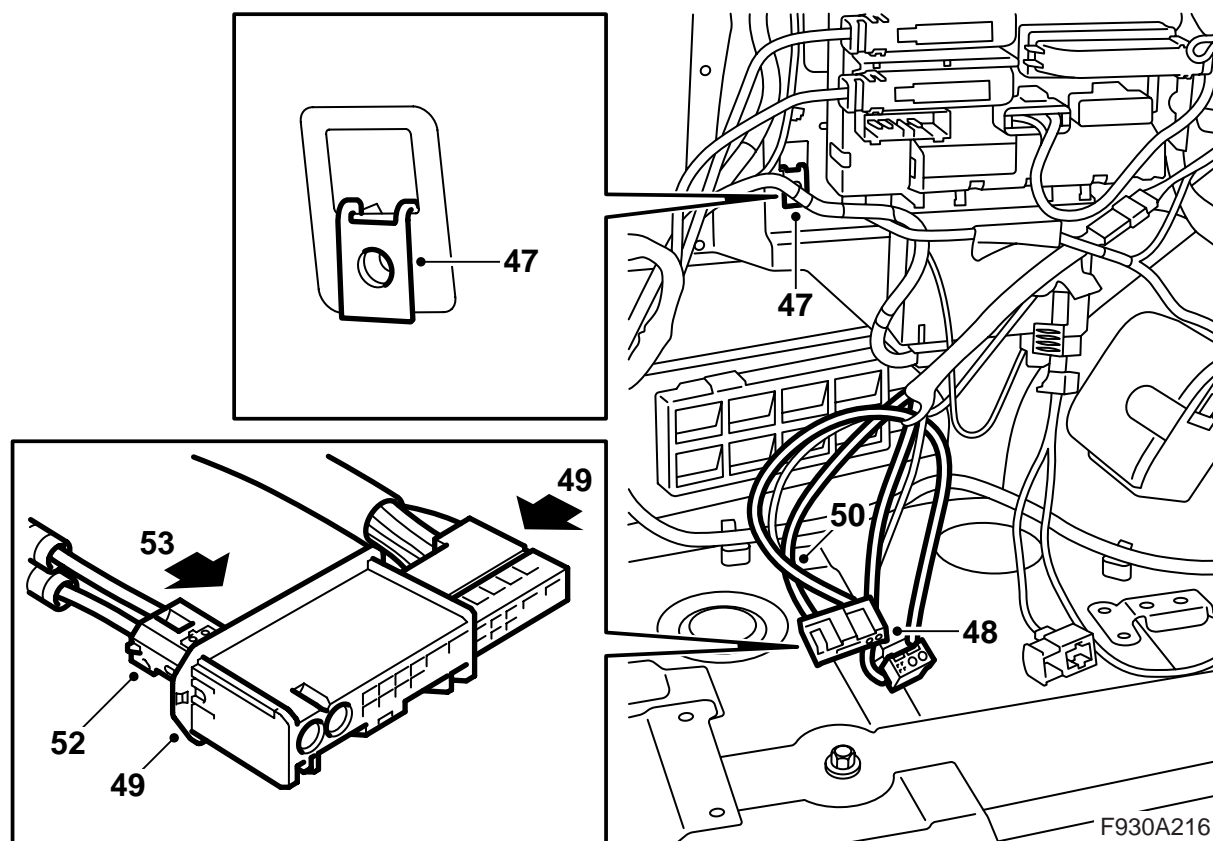
- 40 接続されていないファイバーケーブルから固定テープを取り外す。  
41 接続部からカバーを取り外す。  
42 取り外された接続部にカバーを取り付け、損傷しないように注意しながらどけ、ワイヤーハーネス後方に配置する。  
43 新品のファイバーケーブルをコネクタに接続し、留め金を取り付ける。



F930A215

**リアヒューズボックスのそばにブラケットの無い車**

- 44 A ピラートリムを取り付ける。
- 45 スカッフプレートを取り付ける。



#### リアヒューズボックスのそばにブラケットの無い車

- 46 ブラケットをラゲッジスペースに配置する。
- 47 クリップナットをリアヒューズボックスそばの角穴に取り付ける。
- 48 リアヒューズボックスそばのアンプ用コネクタを探し出す。テープを取り外し、コネクタを引き出す。
- 49 アンプコネクタにカバーを取り付ける。
- 50 リアヒューズボックスそばの各ファイバークーブルを見つける。
- 51 各ファイバークーブルの接続部からカバーを取り外す。

- 52 ファイバークーブルの、緑色のマークが付いた方の接続を小型コネクタの 1 の位置に接続する。ファイバークーブルの、マークが付いていない方の接続を小型コネクタの 2 の位置に接続する。

#### 重要事項

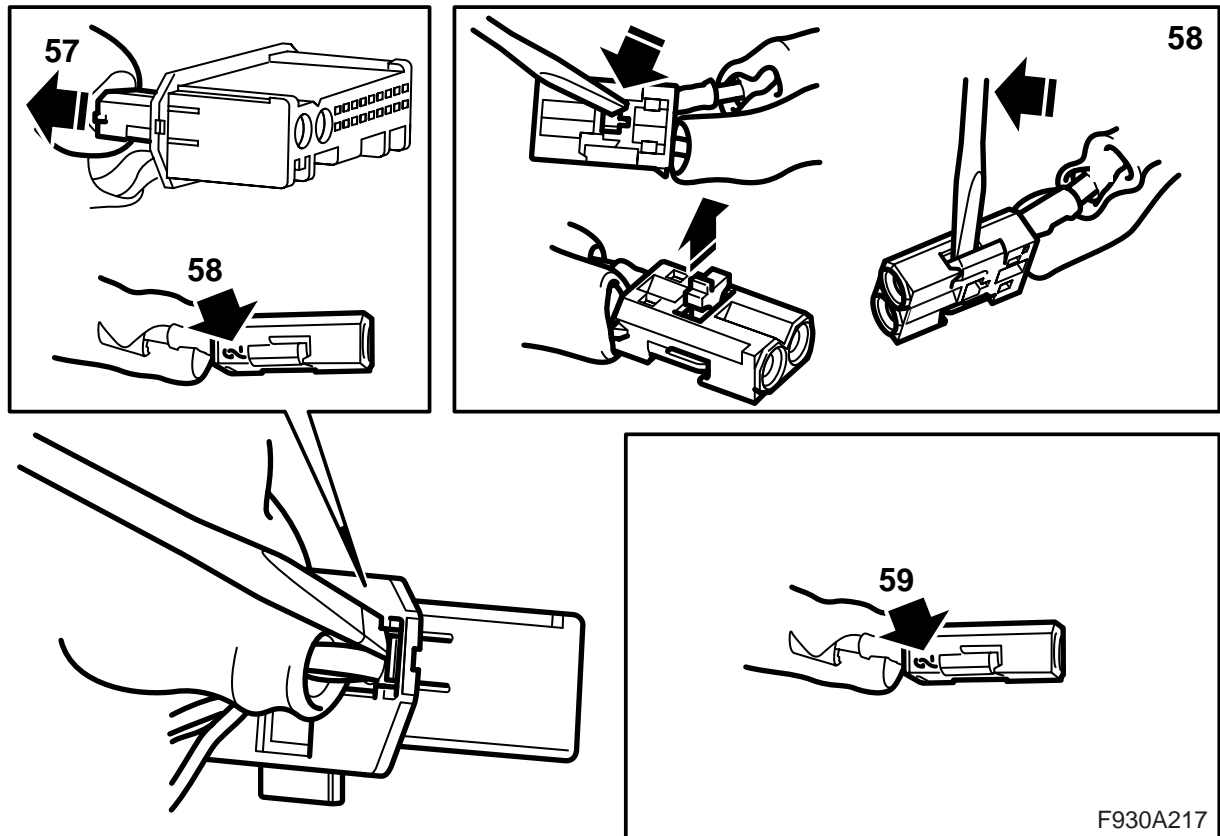
緑色のマークが付いたファイバークーブルが無い車の場合は、テープでマークを付けておいたファイバークーブルを 2 の位置に、もう一方のマークの無い接続部を 1 の位置に取り付ける。

ロッキングクリップを取り付ける。

- 53 小型コネクタを大型コネクタに取り付ける。  
手順 65 から作業を続行する。

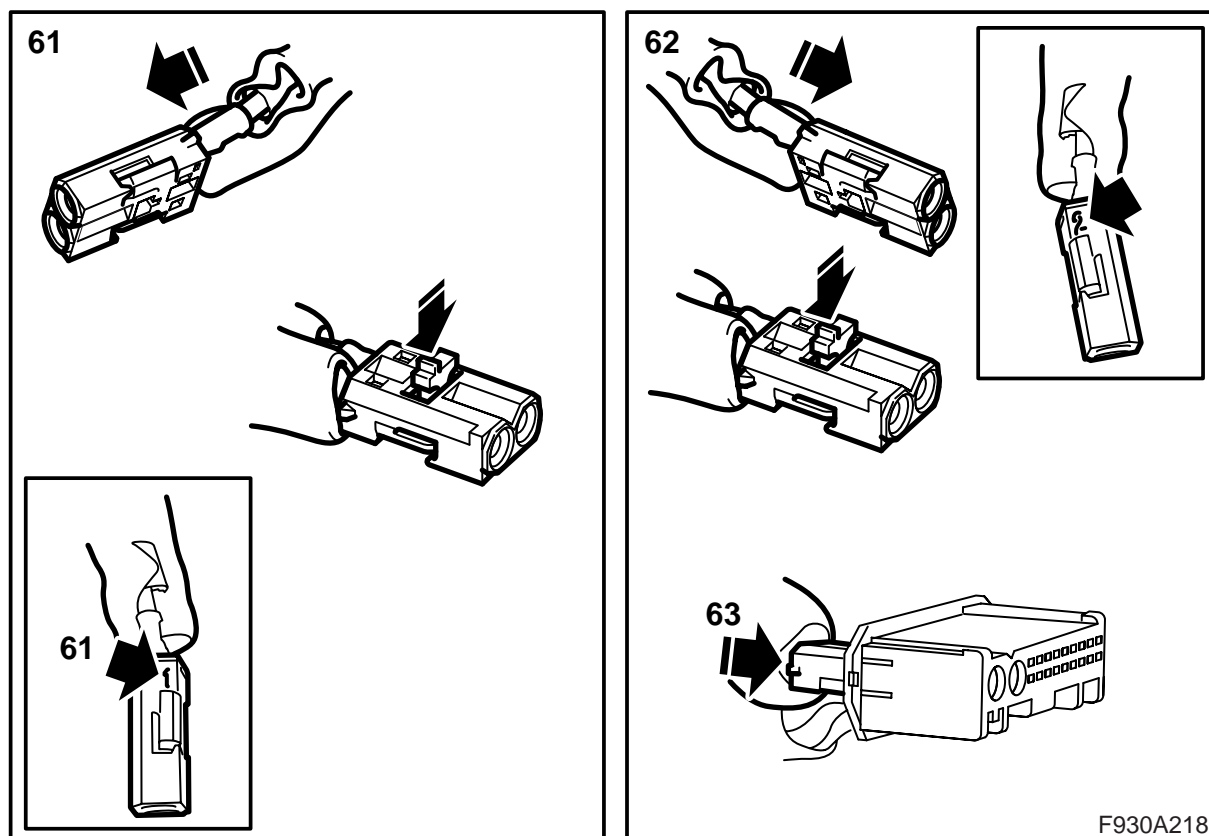
#### 警告

赤い可視光線はレーザークラス 1 である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。



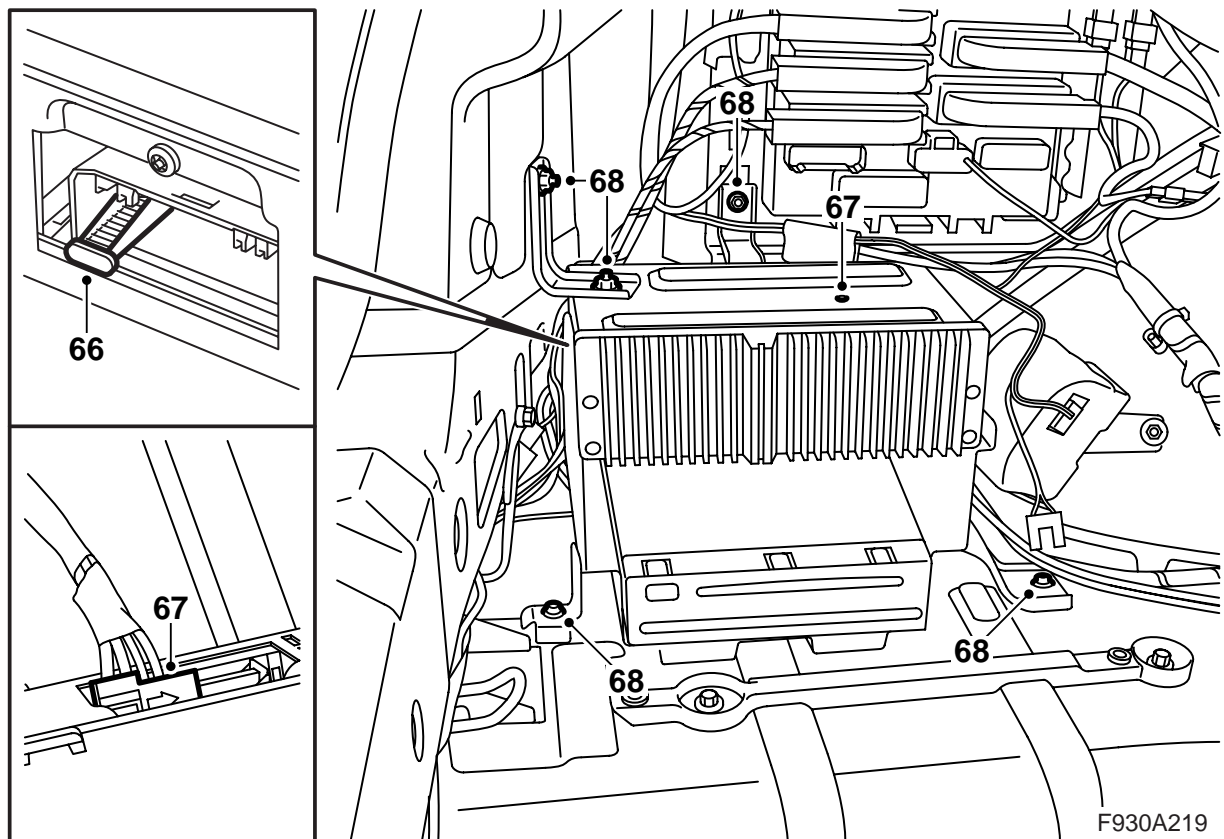
**リアヒューズボックスそばにブラケットが取り付けられている車**

- 54 ブラケットを取り外し、アクセスしやすくするために外側に移動する。
- 55 リアヒューズボックスそばのアンプ用コネクタを探し出す。テープを取り外し、コネクタを引き出す。
- 56 アンプコネクタにカバーを取り付ける。
- 57 **CDチェンジャーまたはDVDプレーヤーがリアヒューズボックスそばに取り付けられている場合：**  
CDチェンジャーのコネクタ、DVDプレーヤーのコネクタを取り外し、大型コネクタから小型コネクタを取り外す。
- CDチェンジャーまたはDVDプレーヤーがリアヒューズボックスそばに取り付けられている場合：**  
CDチェンジャーのコネクタを取り外し、大型コネクタから小型コネクタを取り外す。
- 58 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合：**コネクタのクラスプを開き、キャッチを注意深く持ち上げることにより、取り外されたコネクタの位置 2 に接続されたファイバーケーブルを取り外す。
- 59 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合：**ファイバーケーブルの接続部をキットのコネクタの位置 2 に取り付ける。
- 60 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合：**オプションキットのファイバーケーブルの各接続部からカバーを取り外す。



リアヒューズボックスそばにブラケットが取り付けられている車

- 61 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：キットのファイバークーブルの片方の接続部をキットのコネクターの位置1に取り付ける。クラスプを取り付ける。
- 62 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：キットのファイバークーブルのもう片方の接続部を取り外したコネクターの位置2に取り付ける。クラスプを取り付ける。
- 63 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：小型コネクタをCDチェンジャーもしくはDVDプレーヤーの大型コネクタに取り付ける。
- 64 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：CDチェンジャーのコネクタもしくはDVDプレーヤーのコネクタを接続する。  
手順 65 から作業を続行する。



65 アンプ用のコネクターをブラケットに挿入する。

### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

66 アンプのファイバーケーブル接続部をおおっているカバーを取り外す。



### 警告

赤い可視光線はレーザークラス1である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクターを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が20 mm未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。

67 アンプをブラケットに取り付けるが、このときカチッという音が聞こえる必要がある。アンプを接続してブラケットを合わせこむ。

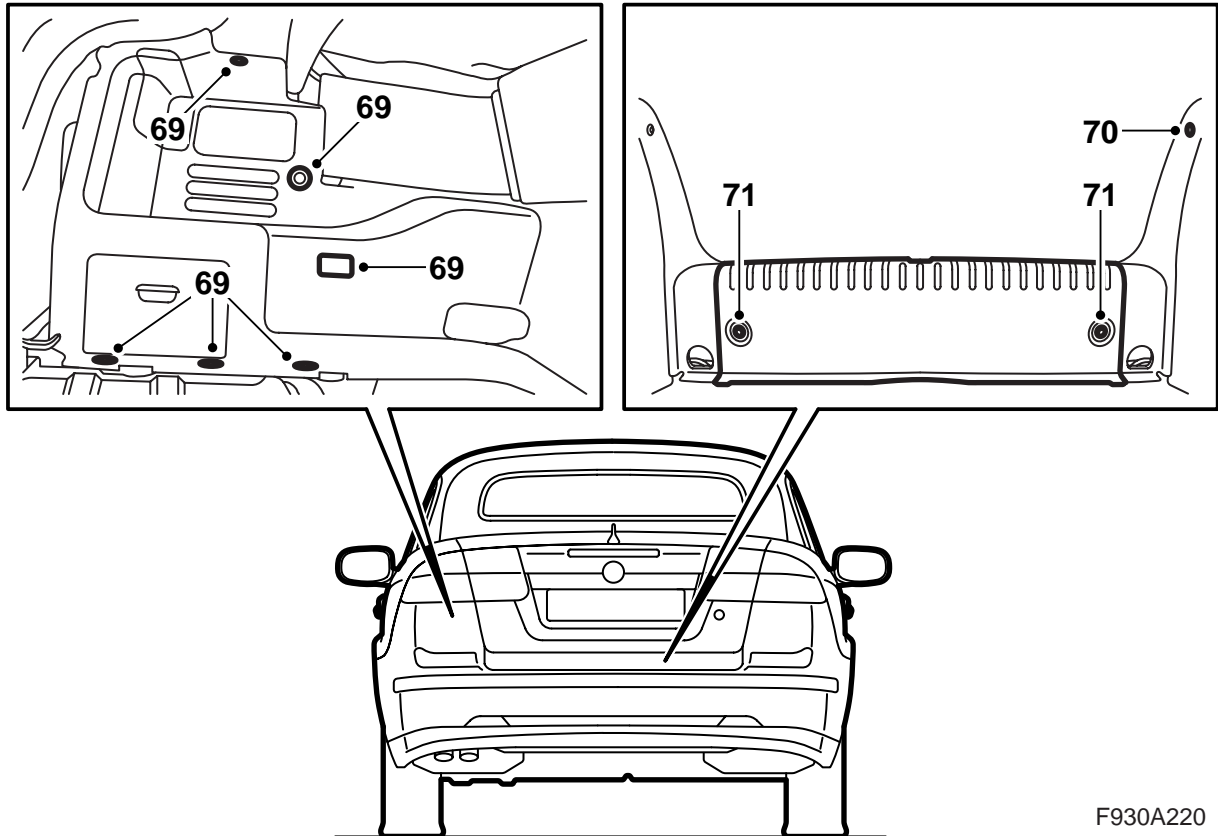
### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

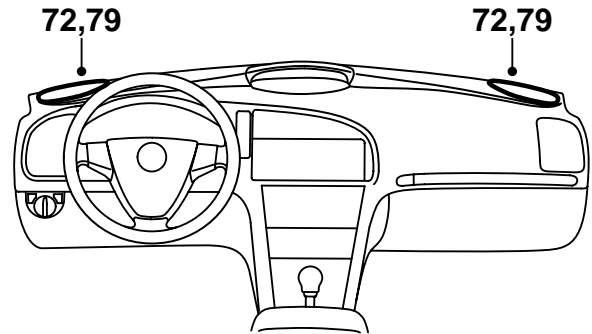
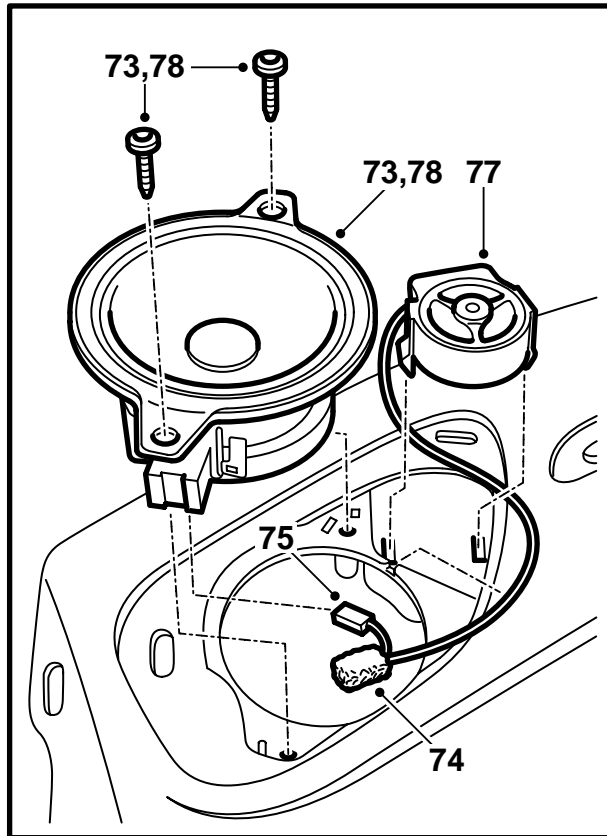
68 ブラケットを取り付ける。ブラケット天面の各ナットもしっかり締め付ける。





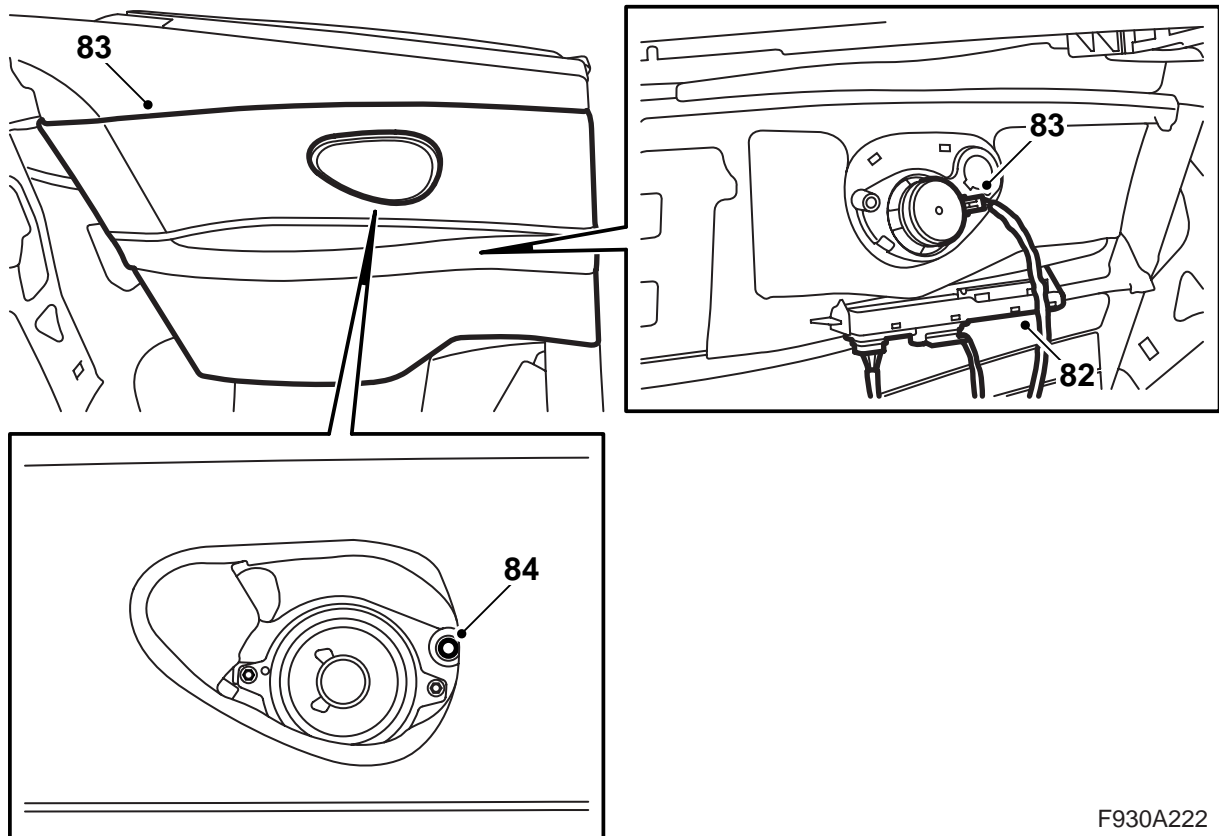
F930A220

- 69 左側サイドトリムをはめ合わせ、トランクルームライトを接続し、バンドのフックをかける。クリップを取り付ける。
- 70 左側のサイドスカッププレートを取り付ける。
- 71 スカッププレートを取り付け、トランクルームのフロアにマットを敷く。



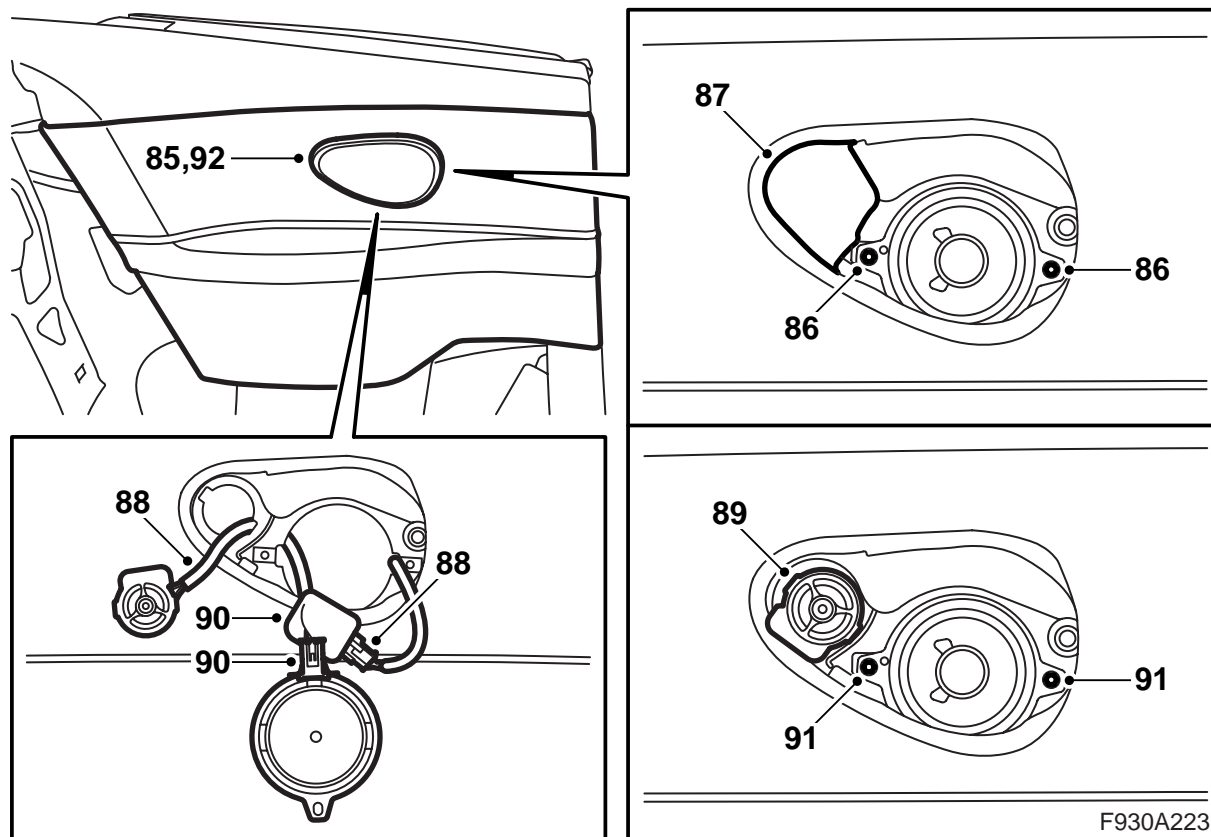
F930A221

- 72 フロントスピーカーグリルを取り外す（品番号 82 93 474 のツールを推奨）。
- 73 各ワイドレンジスピーカーを取り外す。
- 74 各ワイドレンジスピーカーからコネクタを取り外し、そのコネクタを各トゥイーターに接続する。発泡樹脂スリーブをスライドして各コネクタに被せる。
- 75 各トゥイーターからのコネクタを各ワイドレンジスピーカーに接続する。
- 76 ワイヤハーネスを各ワイドレンジスピーカーの穴に通して下に敷設し、各トゥイーター用ワイヤハーネスをそれぞれのみぞに配置する。
- 77 穴に押し込んで固定することにより、各トゥイーターを取り付ける。
- 78 各ワイドレンジスピーカーを取り付ける。
- 79 スピーカーグリルを取り付ける。



F930A222

- 80 バッテリーのマイナスケールを接続する。
- 81 ソフトトップを完全に下げるが、ソフトトップカバーは開いた状態としておく。
- 82 左側サイドトリムのモイストプロテクション（湿気保護材）の状態が完全であるかどうか点検し、必要なら交換する。サイドトリム内に制御モジュールを取り付ける。
- 83 スピーカーのコンネクターを接続し、サイドトリムをはめ合わせ、これを下向きに押す。ゴム製の保護材が正しい位置になることを確認する。
- 84 サイドトリムを固定するネジを取り付け、ドア開口部のシーリングのインナーリップ（内側のへり）をサイドトリム前端の上にかかるようにする。ソフトトップカバーシーリング上のブラケットを、サイドトリムの上になるように持ち上げる。

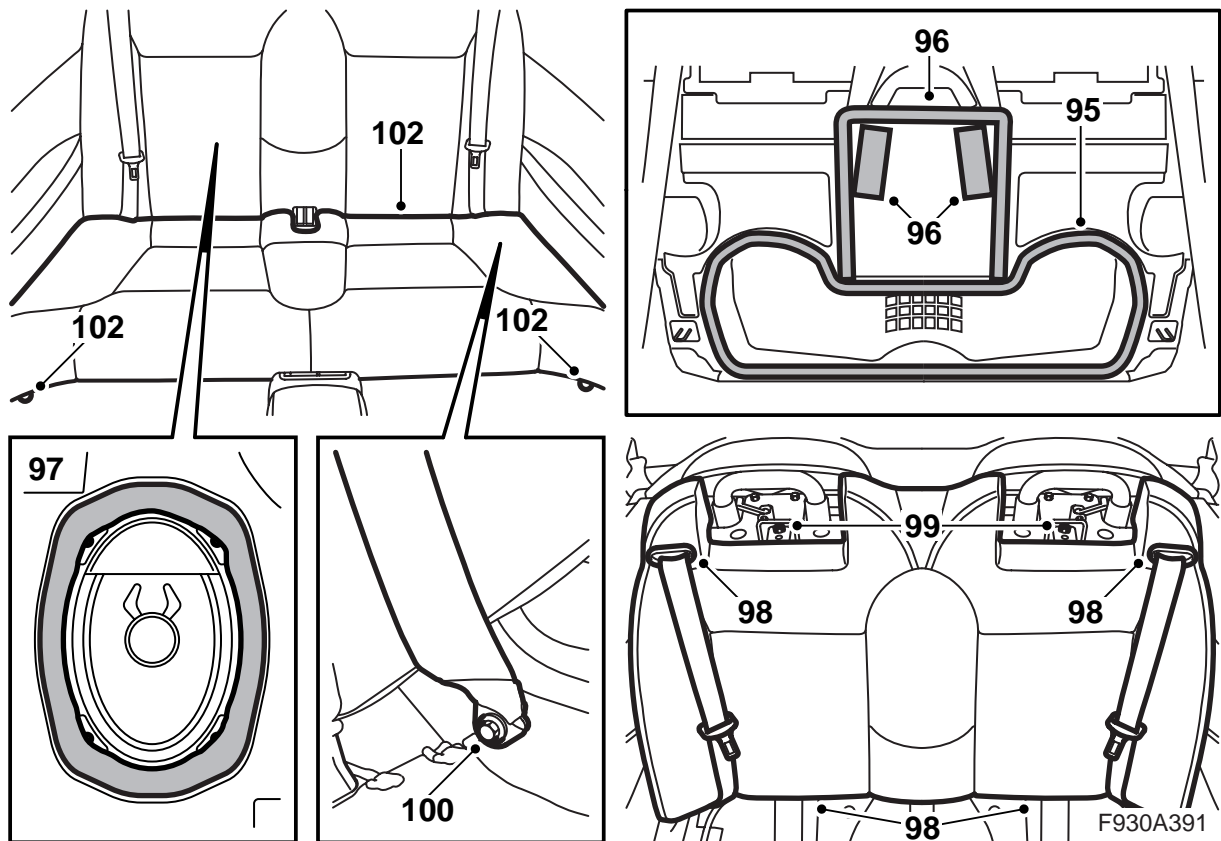


- 85 スピーカーグリルを、左側リアサイドトリムから注意深く取り外す。取り外しツール（品番号：82 93 474）を使用すること。
- 86 ワイドレンジスピーカーを右側のサイドトリムに固定しているネジをゆるめる。ワイドレンジスピーカーを取り外し、スピーカーからコネクタを取り外す。
- 87 トリムに、高音スピーカー用の穴を切り開ける。
- 88 高音スピーカーのワイヤーハーネスをサイドトリムの開口部から通し、このコネクタをワイドレンジスピーカーのコネクタと接続する。
- 89 高音スピーカーをサイドトリムに押し入れて固定する。

### 注記

高音スピーカーはそれぞれ、接続を異なる方向に向けて取り付けること。

- 90 ワイドレンジスピーカーを接続し、コネクタ上に発泡ゴム製のスリーブを取り付ける。
- 91 ワイドレンジスピーカーをサイドトリム内に取り付ける。
- 92 スピーカーグリルを取り付ける。
- 93 車の右側について作業手順 85 ～ 92 を繰り返す。
- 94 ソフトトップカバーを閉める。



- 95 全長 2100 mm のラバーストリップ を、後部座席のバックレスト裏側に取り付ける。
- 96 全長 850 mm のラバーストリップとフェルト布を、後部座席のバックレスト裏側に取り付ける。
- 97 全長 750 mm のラバーストリップを両方共、バックレストのスピーカー周囲のプレートカラー上に取り付ける。
- 98 リアのシートベルトをベルトガイドに通し、このガイドをバックレストのクッションに押し込んで取り付ける。バックレストのクッションを上側から合わせ入れ、押し込んで固定する。
- 99 バックレストの上側固定部の 2 個のネジを取り付ける。
- 100 シートベルトの下側固定部のネジを取り付ける。
- 101 リアのヘッドレストをそれぞれのスリーブ内に取り付ける。
- 102 シートクッションをはめ合わせ、シートクッション前端的のネジを取り付ける。
- 103 日付と時刻を調整する。
- 104 キーをイグニッションスイッチに差し込むことで、リモコンのコードを同期化する。

### 重要事項

これは全てのリモコンに実施すること。さもないとこれらのリモコンは機能しない。

- 105 サイドウィンドーを2回上下させることで、パワーウィンドーの挟み込み防止機能を作動させる。作動が完了すると音による合図が出る。

- 106 診断ツールを接続し、車のモデルと年式を選択し、「全て」を選択し、「追加と削除」を選択して、アクセサリを選択し、「追加」を選択する。

### 注記

診断ツールは、場合によって TIS セーフティコードを必要とすることがある。このコードの入手方法は、診断ツールのディスプレイに表示される。

- 107 システムが正しく作動することを確認する。